

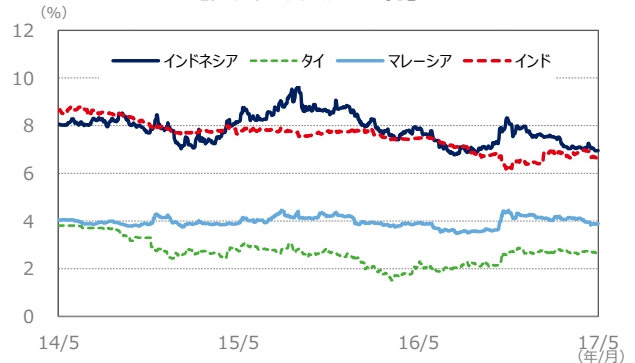
## 今日のトピック アジアの債券市場（2017年5月）

# 長期金利は総じて安定的な推移が見込まれる

### ポイント1 アジアの長期金利はもみあい 米長期金利に概ね連動

- 多くのアジア各国・地域の長期金利は、16年11月に大幅に上昇しました。米大統領選挙でのトランプ氏勝利を契機に、米長期金利が急騰したためです。しかし、17年に入り、米長期金利の上昇が一服すると、アジアの長期金利も同様にもみあいに転じ、安定して推移しています。
- モディ首相の経済改革が進むインドでは、債券市場に資金が流入し、16年11月の米長期金利に連動した金利上昇は起こりませんでした。

【アジアの長期金利】

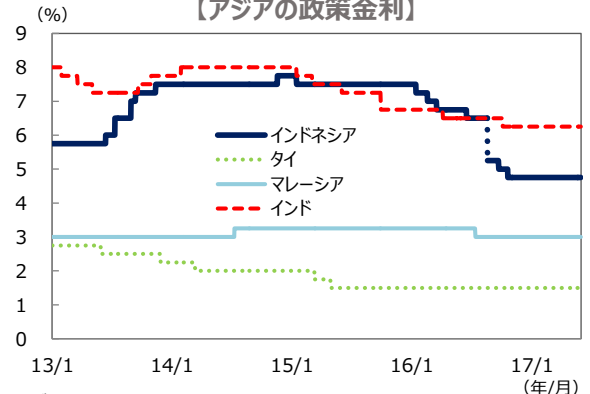


(注) データは2014年5月30日～2017年5月30日。10年国債利回り。  
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

### ポイント2 多くの国は金融政策維持 フィリピンなどは先行き利上げも

- アジア各国の中央銀行（香港除く）は、17年に入り政策金利を据え置いています。米国は利上げ局面にありますが、通貨の落ち着いた動きやインフレが目標レンジ内に収まる見込みであることから、多くの中央銀行は中立姿勢を続ける見込みです。
- フィリピンやインドの中央銀行は、景気拡大による需要面からのインフレ圧力が高まることや過剰流動性を警戒し、先行き小幅の利上げを行うことで金融環境を適切に調整すると見られます。

【アジアの政策金利】



(注) データは2013年1月1日～2017年5月30日。  
インドネシアは2016年8月に政策金利の指標を変更。  
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

## 今後の展開 長期金利は総じて安定的な推移が見込まれる

- 米国の利上げは、インフレが落ち着いた水準で推移すると予想されるなか、緩やかなペースで実施されると見られます。このため、今後の米長期金利の上昇は緩慢なものになる見込みです。
- 経済改革が進むインドや大手格付け機関のS&Pグローバル・レーティング社が長期債格付けを引き上げたインドネシアなど、経済の基礎的条件が良好なアジアの国には、投資資金の流入が期待されます。多くのアジアの中央銀行は中立姿勢を続けると見られ、総じてアジアの長期金利は安定化することが見込まれます。

**ここもチェック!** 2017年5月30日 米国債券市場の動向（2017年5月）  
2017年5月25日 ASEAN4の金融政策（2017年5月）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。